

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和3年12月24日(金)16時00分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、加藤原子力規制専門員

敦賀原子力規制事務所

山中原子力運転検査官

文部科学省

原子力課 核燃料サイクル室

横井核燃料サイクル推進調整官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他7名

高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置計画課長 他2名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配付資料に基づきもんじゅの廃止措置第2段階以降の廃止措置計画の検討状況等について説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料2-3について）

- ・炉心からのしゃへい体等の取出しにおける原子炉容器内ナトリウム液位をシステムレベル(SsL)で運用することについて、不具合が発生した場合に備え通常レベル(NsL)に早期に復旧するための手段を準備することのことだが、当該手段について、例えばSsL運用時に休止するとしている1次系ナトリウム設備の休止期間中の管理方法などを具体的に説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1 : 「もんじゅ」の燃料体取出し作業の進捗状況について

資料2-1 : 第2段階におけるナトリウム搬出の実施計画（案）

資料2-2 : しゃへい体等の取出し（案）

資料2-3 : しゃへい体等取出し時の原子炉容器内ナトリウム液位の設定について